

# 第4回研修会 グループワーク まとめ

2016年5月26日

清瀬市地域包括ケア推進課

## ■ 第4回研修会のグループワーク課題

---

**【課題1】「目指す地域像」の実現に向けて、どのような人を第一層の協議体の構成員(具体的にどのような役職等)に選出したらよいか考えでみましょう。**

※目指す地域像は『第2回研修会でのグループワークのまとめ』の意見を参考に班の方の意見を集約してください。追加の御意見がある場合は追記してください

清瀬市の目指す地域像とは(第2回研修会でのグループワークまとめ)

- ・近所での交流や集いの場などを通して他世代と繋がりができる。  
隣同士で気軽に助け合い等が出来る。
- ・環境面での整備。子どもが安心して遊ぶところができる場所、  
老若男女で気軽に集まれる場所、男性が気軽に地域出ていける場所が必要。
- ・地域が活性化されている  
高齢になっても働き口のある社会、職業を活かす場など、自分を活かす場があり  
地域がボランティア等で活性化されていること

## ■B班発表

---

### 課題1 清瀬市の目指す地域像及び協議体構成員について

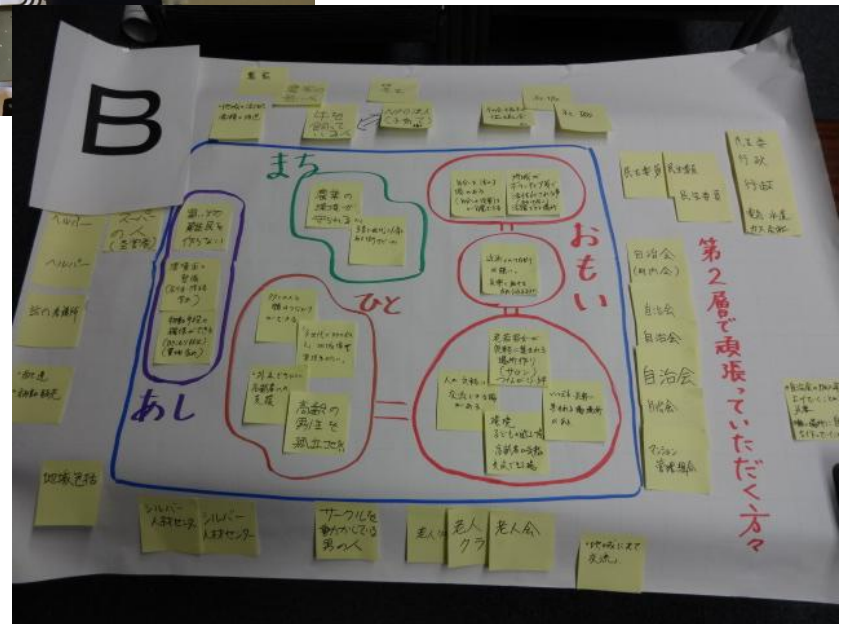
A・「おもい」というテーマでは、自分をいかす場所、ボランティアなどが活躍する場所が必要。それがきっかけとなり近所とのつながりが強くなり、それが気軽に助けあえるきっかけになる。出ていく場所として、サロンや交流する場所を作っていく必要がある。それを達成するためには第二層の協議体の構成員としては自治会・マンション管理組合が必要。

・「ひと」というテーマでは、多くの人との顔のつながりができる多世代で助け合いできる、外出できにくい人への支援、恒例の男性を孤立化させない等が目指す地域像としてあがる。その手段として老人会に参加をいただき交流したり、能力を生かす場としてシルバー人材センターなどを活用することが有効なので協議体構成員として選出する必要がある。

・「まち」というテーマでは清瀬市の特徴である農業に関して意見が上がった。このテーマが一番議論が盛りあがる。農家に従事する若い方々に参加していただくことが地域の活性化につながる他、農家や牛を飼っているお宅に見学するなど農業をしっていくことが大事など、農業をいかすことが必要。

・「あし」というテーマでは、買い物をしにくい場所がある、交通手段が確保しにくい場所があるという意見が上がった。それが経緯となり、引きこもり、買い物難民を増やさないことが地域の目指す像であるという意見が上がった。それを達成する為には商工会・ヘルパー・農協等に協議体構成員として協力いただき、移動販売・配達等を提供していく必要。

# ■ B班発表



# ■ C班発表

## 課題1 清瀬市の目指す地域像とは

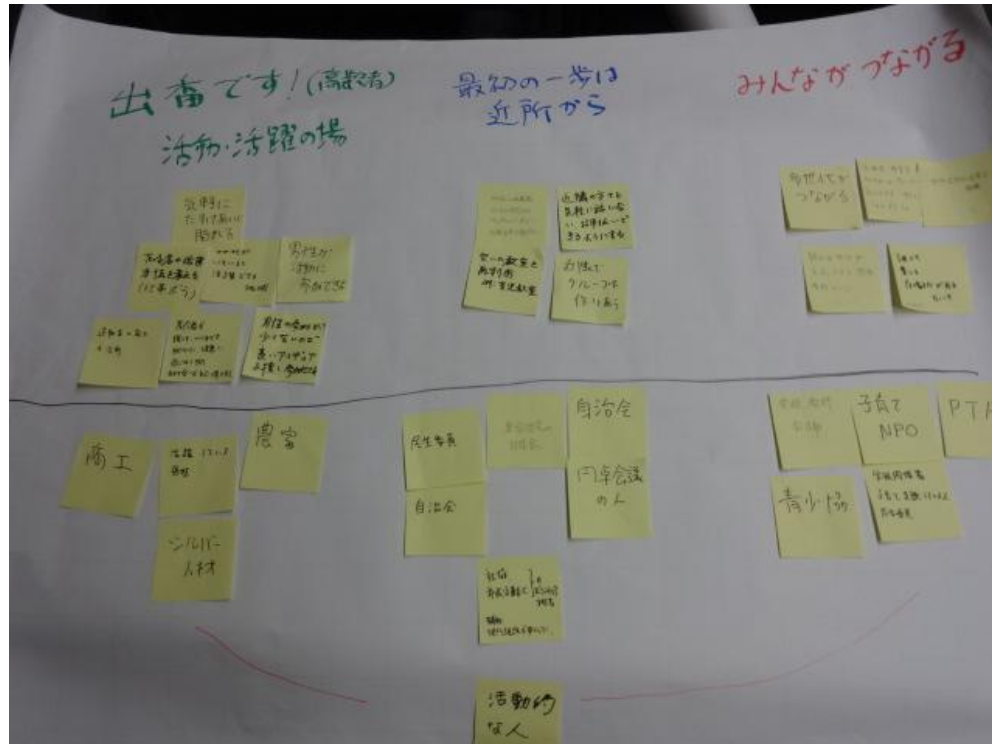
### A・出番です！！高齢者

高齢者がいきいきと活躍できる場等の提供が必要。

#### ・最初の一步は近所から

開いた教室の再利用や近隣でグループを作るなど、近隣の方も気軽にお手伝いできるような環境づくりが必要。小さい地域で助け合いができる地域になるとよい。

#### ・みんながつながる。だれでも集える居場所 様々な多世代が交流できる場所が必要。



## ■ C班発表

### 課題2 協議体の構成員はどのような人がいいか

A 商工会・農家・シルバー人材等活躍している男性が必要。

地域を知っている人。円卓会議・市民活動センター職員・民生委員・自治会  
青少協、子育てNPO教師等学校関係者



# ■D班発表

## 課題1 清瀬市の目指す地域像とは

A ・多世代のつながりがあるような地域

・生きがい、活躍ができる地域

・つながるのが難しい人も安心して生活できるような地域

これを達成するにはつながりができるようなネットワークが大切(定期的な集まり)。困った時にどうすれば良いのか、わかるような「私のための手引書」が作れるといい。その地域像は「清瀬地域助け愛」があふれている地域で愛が大切。



## ■D班発表

### 課題2 協議体の構成員はどのような人がいいか

- A ・交渉術にたけている人。助けてくれる人。心豊かな意志ある人間。
- ・自治会代表。民生委員。団地連合会の代表。円卓会議の代表。子育て団体の代表。
- ・校長会の代表。ピース。障害者支援(精神・身体)の代表。老人クラブ代表。
- ・健康づくり推進員。シルバー人材センター。PTA代表。消防団等勢いのある人。





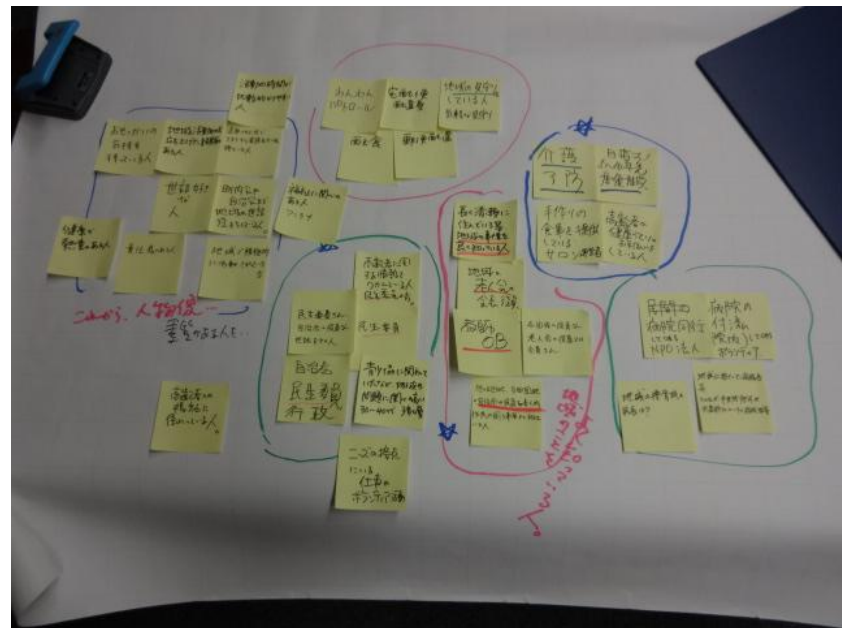
# ■ E班発表

## 課題1 清瀬市の目指す地域像及び・協議体構成員とは

・目指す地域像では人によってイメージが異なるためどんな人が協議体にはいったらいいかという視点から生活支援・家事支援・介護予防(健康づくり含む)を中心にから考えた。

人物像:健康で熱意のある人。責任感のある人。世話好きな人。おせっかいな人。地域活動に興味がある人。定年退職になってもいままで培った能力を生かすことが出来る人。高齢者の生きがいをうまく利用することが出来る人。

資源:地域のことをよく知っている人。長い間清瀬に住んでいる人。自治会役員。老人会、学校先生OB。高齢者の情報を有している人:ケアマネ・民生委員・医療関係者。地域の見守りを直接している人(わんわんパトロール・配食・郵便配達員・宅配便)・病院の付き添いしている人になってほしい。健康づくりを推進できる人。



## ■ E班発表

---

### 課題2 協議体の構成員はどのような人がいいか

A・自治会長。郵便局の配達員。NPO法人。宅配。保険員。商工会。SW。老人会。学校の先生。消防団員。縦のつながりになってしまうので横のつながりが大事。



## ■まとめ

---

### 課題1 「目指す地域像」

- A・近所での交流や集いの場などを通して他世代と繋がりができる。  
隣同士で気軽に助け合い等が出来る。外出できにくい人への支援、  
恒例の男性を孤立化させない等も可能となる。
  
- ・だれでも集える居場所等の整備が必要。こどもが安心して遊ぶところができる場所、  
老若男女で気軽に集まれる場所、男性が気軽に地域出ていける場所等。
  
- ・地域が活性化されている  
高齢になっても働き口のある社会、職業を活かす場など、自分を活かす場があり  
地域がボランティア等で活性化されていること
  
- ・清瀬の特徴である農業をいかす  
農家に従事する若い方々に参加していただくことが地域の活性化につながる他、  
農家や牛を飼っているお宅に見学するなど農業をしっていくことが大事など、農業を  
いかすことが必要。
  
- ・買い物難民を増やさない  
買い物をしにくい場所がある、交通手段が確保しにくい場所があると引きこもり・  
買い物難民等に繋がるためそれを防止する必要がある

## ■まとめ

---

### 課題2 協議体の構成員

#### 【構成員】

健康づくり推進員、商工会、農家、シルバー人材等で活躍している男性が必要。  
円卓会議世話人、市民活動センター職員、民生委員、自治会、老人クラブ代表  
青少協、子育て団体の代表、教師等学校関係者、ピース、NPO法人、PTA代表。  
障害者支援(精神・身体)の代表、社会福祉協議会、地域包括、移送サービス  
医療職、警察、行政(まちづくり・障害・子育て等)

#### 【人柄】

地域を知っている人。交渉術にたけている人。助けてくれる人。  
心豊かな意志ある人間。